

地元が生んだヒーロー

岸田 吟香

岸田 吟香

岸田吟香



渋沢栄一



伊藤博文



岩崎弥太郎



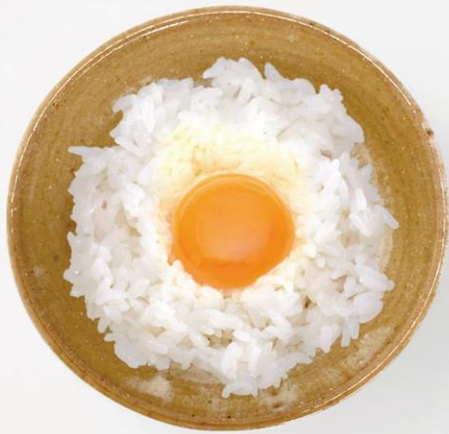
「岸田吟香物語」



美咲町（旧旭町）が生んだ偉人



幸福食堂（美咲町原田）



昭和2年
(1927)
「江戸生活研究
—彗星—」

生卵・塩・唐辛子

「鶏 卵 和」
けい らん あえ





通谷川

雲海

中島公園

小山の棚田

三休公園 民話の村

民話館
桜湖邸

30

美咲町旭総合支所

三宮八幡神社

宝寿寺

篠平大橋

西川大橋

旭文化会館

岸田吟香記念館

大井和西の棚田

岸田家墓地

国道429号
バイパス
予定路線

火垂る谷

大瀬毘川

さくらグラウンド

岸田吟香生誕跡地

一宮八幡神社

429

旭川湖

江与味橋

四宮八幡神社

朽原橋

岸田吟香記念碑

朽原公園

大師山
トンネル

至倉敷

天保四年（一八三三）

江戸時代

久米北条郡中坵和谷村

大瀬毘

（現在 美咲町柝原）





岩田吟香 ゆかりの地
吟香生誕の地
岩田吟香 生誕地





五歳から
十二歳ま
で寺子屋
で学ぶ。



埴和 宝寿寺



十二歳から十四歳まで、
学僕として住み込んで、
勉強にいそしむ。

安藤簡齋

拳母藩（現在愛知県豊田市）の大庄屋をしていた安藤家

十四歳から十九歳
まで、津山で漢学
や剣術を学ぶ。

私塾を開き、四
書五経・日本外
史などを教える。

天台宗
龍頭山
善應寺

津山市大篠 善應寺



昌平坂
(東京都文京区)

十九歳

近代教育発祥の地

江戸時代、このあたりは学問（儒学）の府であつた聖堂（孔子廟）の一部、昌平坂学問所（昌平黌）があつたところである。寛政九年（一七九七）学問所の学寮、宿舎が建てられ、旗本や藩士の子弟を対象とした教育が施された。



近代教育発祥の地 湯島一丁目4と5 (湯島聖堂・東京医科歯科大学)

江戸時代、このあたりは学問（儒学）の府であつた聖堂（孔子廟）の一部、昌平坂学問所（昌平黌）があつたところである。
寛政9年（1797）学問所の学寮、宿舎が建てられ、旗本や藩士の子弟を対象とした教育が施された。

明治維新後、学問所は新政府に引き継がれ、昌平学校、大学校、東京大学と発展していった。

明治4年（1871）に文部省が設置され、我が国の近代教育の原点となる施策が展開されることになった。当地には明治5年師範学校（翌年、東京師範学校と改称）が開校し、その後、隣接地に東京女子師範学校が置かれた。

東京高等師範学校は明治36年に大塚区に移転し、後に東京教育大学（現筑波大学）となり、東京女子高等師範学校は昭和7年大塚に移転し、後に新制大学としての発足の折、この場所の地名を校名に冠し、お茶の水女子大学と称し現在に至っている。

文京区教育委員会 平成19年3月

Google マップを検索する



あ

🍴 レストラン

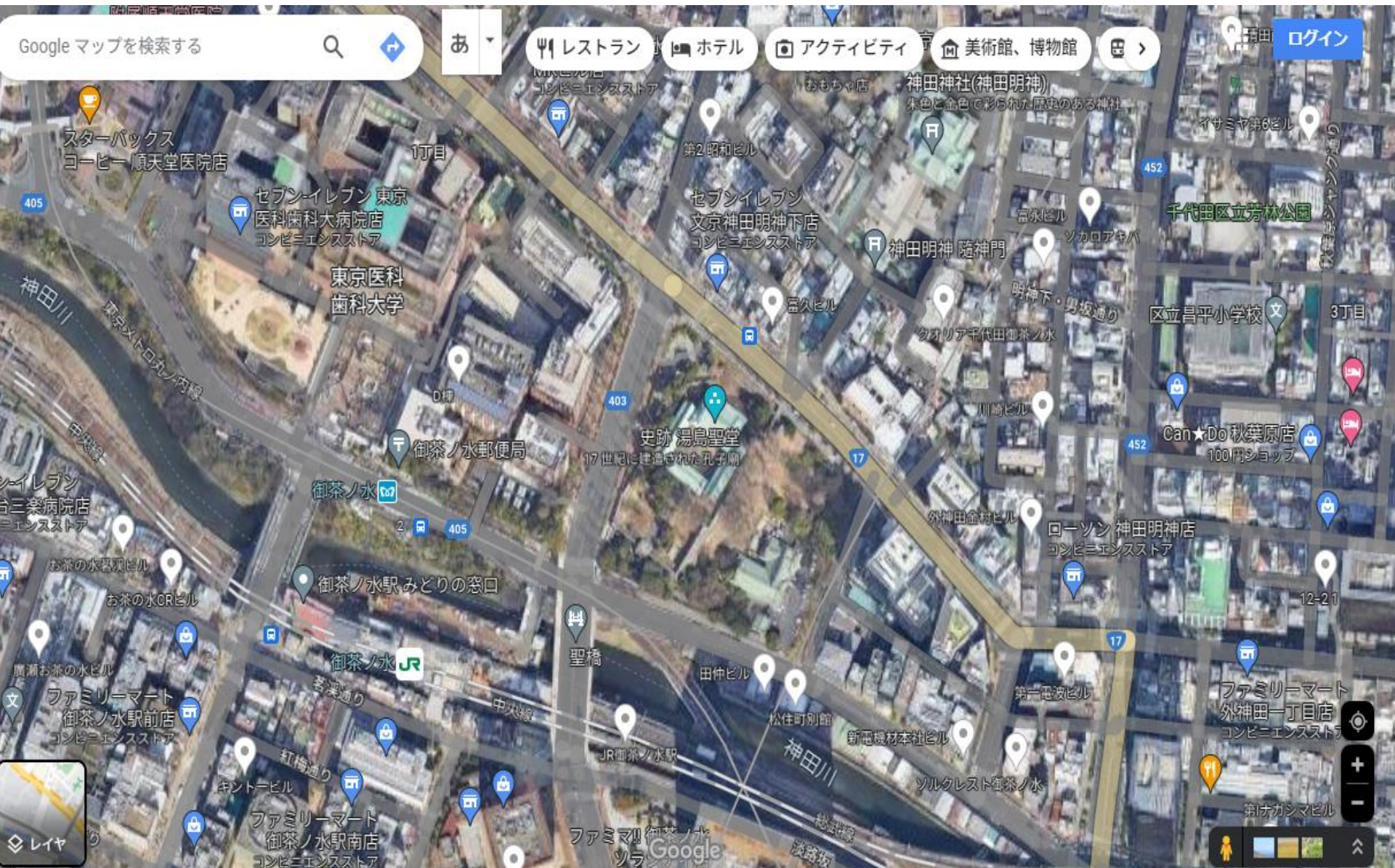
🏨 ホテル

📍 アクティビティ

🏛️ 美術館、博物館



👤 ログイン



スターバックス
コーヒー 順天堂医院店

セブンイレブン 東京
医科歯科大病院店
コンビニエンスストア

東京医科
歯科大学

セブンイレブン
文京神田明神下店
コンビニエンスストア

神田神社(神田明神)
朱色と金色で彩られた歴史のある神社

千代田区立芳林公園

史跡 湯島聖堂
17世紀に建造された孔子廟

御茶ノ水郵便局

御茶ノ水

御茶ノ水駅みどりの窓口

御茶ノ水

ファミリーマート
御茶ノ水駅前店
コンビニエンスストア

ファミリーマート
御茶ノ水駅南店
コンビニエンスストア

ファミリーマート
御茶ノ水
ソラ

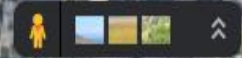
ローソン 神田明神店
コンビニエンスストア

Can★Do 秋葉原店
100円ショップ

ファミリーマート
外神田一丁目店
コンビニエンスストア



Google



名高い漢学者について熱心に勉学に励む。力をつけて、先生に変わって講義をする。

水戸藩や秋田藩の藩邸でも講義をし、やがて拳母藩に仕える武士となる。

二十

二歳



岸田大郎左衛門

脚気を患い帰郷、叔母光元とし
の家（久米南町別所）で養生し
ながら齊藤塾で学ぶ。父の反対
を押し切って大阪へ、そして再
び江戸へ出る。

二十四歳

自由奔放で、型にはまった生活
が苦手。

武士をやめる。

二十八歳

「銀次」の看板を上げて襖や障
子を張る仕事をしたり左官や銭
湯の三助などの仕事も……。

「ぎんこう、銀公……」と呼
ばれ、やがてこの頃に吟香に
名を変える。

眼病

失明の危機

三十一歳

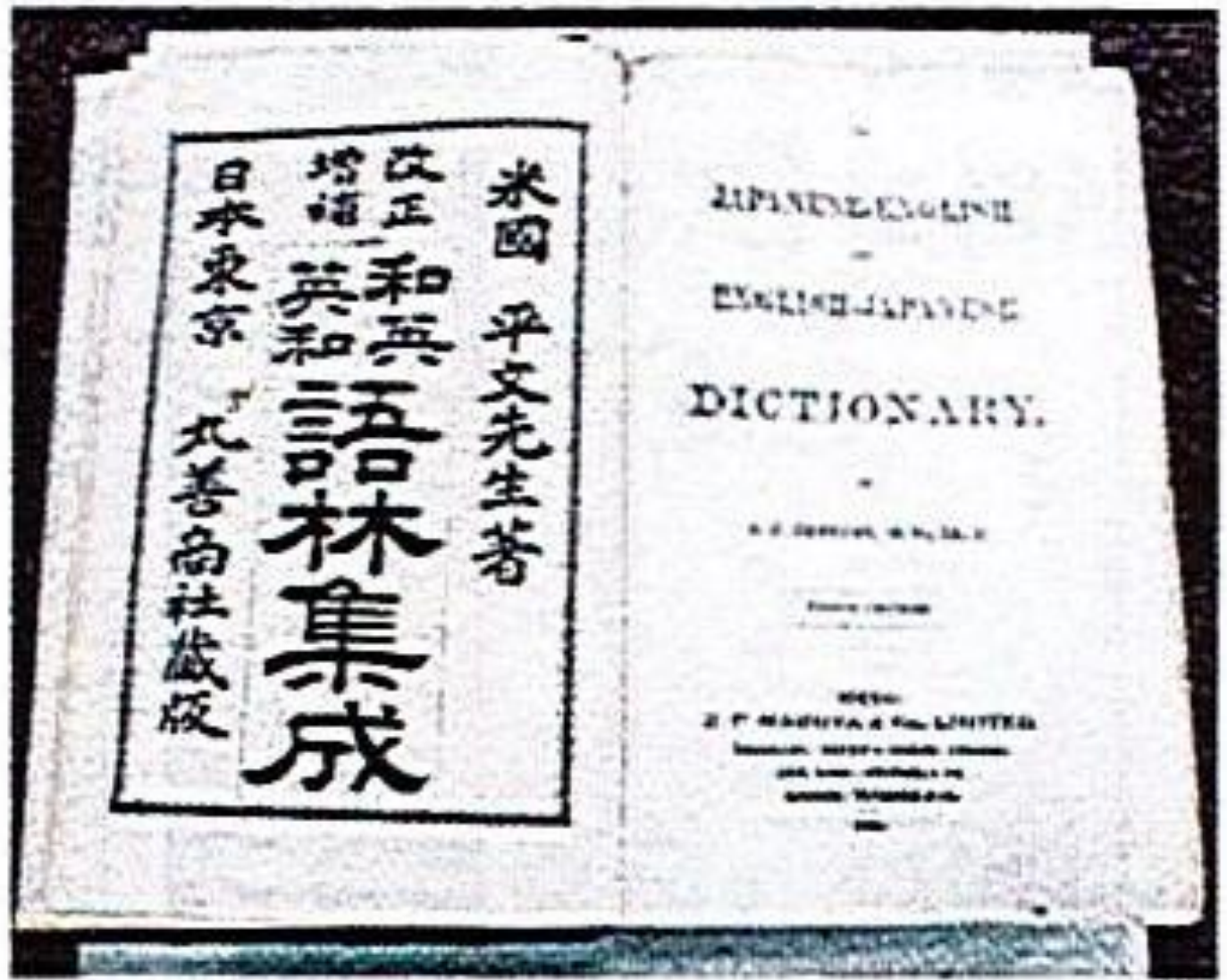
- アメリカ人
- 医師
- 宣教師
- ヘボン式
ローマ字



ジェームス＝カーティス＝ヘボン

ト ジャーナリス





和英対訳辞書

慶応三(一八六七)

三十五歳

海外新聞の発行

元治元年（1864）

ジョセフ・ヒコ

本名：浜田彦蔵（帰化アメリカ人）

横浜新報「もしほ草」の発行

慶応4年（1868）

東京日々新聞に掲載した広告

新年の御祝儀を申上る

岩田 四郎

敝社新聞紙の審議誌法を始めとして昨年と一昨と年 御福幸の折から御
懇情を蒙りたる奥羽諸州の諸君と北陸東海兩道の諸方と別して私方の
阿水三渡を御取次ぎ下さる御得意様
方その外かねて私を庇存し下さる人
とへ新聞を以て御礼の旨を交し
奉り申す遊覧と



自画像入り年賀広告

明治六（一八七三）

四十一歳

日報社（現在の毎日新聞社）に
主筆として迎えられる。

明治七（一八七四）

四十二歳



東京日々新聞第736号

従軍記者として



台湾新報第13号

実業家



慈善家

教育家

液体目薬 「精錡水」



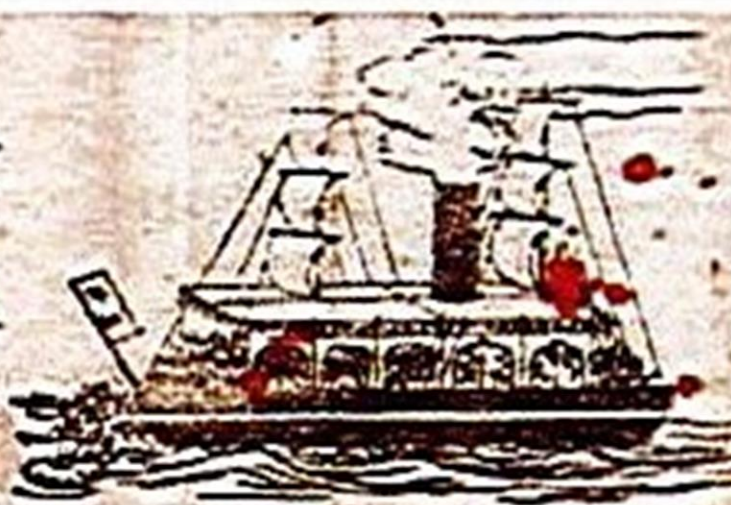
看板 「御目薬精錡水」

慶応三（一八六七）

三十五歳

御免 神奈川 横濱 行 蒸気早船所

船一往來八尾出船一時限リ



一毎朝六時出船 出時着

一五時半時出船 四時半着

一四時半時出船 四時着

一八時半時出船 七時半着

一船賃の事今示置候がごとく
但し午の船は船賃の事

右の通り船は往復船日六船より五船迄あり
船賃の事今示置候がごとく

正月

待合所
待合所
待合所

引札「御免神奈川横濱行蒸気早船所」

油田掘削事業

氷室商会

香水の製造

盲啞教育

訓盲院の設立



東京築地訓盲院

日清貿易

「上海樂善堂支店」

日中貿易の拠点

日清文化交流

「東亞同文書院」

「天津・中日書院」

「漢口・江漢中學校」

知日教育

日中親善に貢献

時代の先駆者

「大魚は小池に遊ばず」



衣垢不滯器缺不補對人猶有慚色行垢不滯
德缺不補對天豈無愧心 大正二年 舍甥 村松謹畫

大正4年(1915) 布下耕讀画 (吟香の弟熊次郎の孫)

享年72歳





宝塚少女歌劇団「モン・パリ～吾が巴里よ～」
1927年 演出—岸田辰彌—



岸田劉生「麗子微笑」

広がる吟香の輪

児童福祉の先駆者 大野唯四郎



兵庫県丹波市
市島町史研究会

(2022. 3. 22)

広がる吟香の輪

兵庫県播磨町

ジョセフ・ヒコ生誕の地

野添地区地域推進委員

(2022. 9. 3)



吟香を語り継ぐ会

県北情報

- 参考文献
- 「岸田吟香雑録」 草地浩典先生
- 「岸田吟香伝」 旭町教育委員会
- 「岸田吟香」 ～激動の時代を走り抜けた先駆者～

岸田吟香記念館